

What is sign language?



手話とは？

目で見て話す、ひとつの「言語」です。

聞こえる人が日本語や英語を音声で話すように、聞こえない人や聞こえにくい人は、手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する手話で話します。

「手話は言語である」ことは、障害者権利条約や法律で世界でも広く認められています。多くの方が手話に興味を持ち、日常生活のなかで使えるようになれば、コミュニケーションの輪は大きく広がります。豊かな共生社会を目指し、手話を活用しましょう。

正しく理解して適切なサポートを

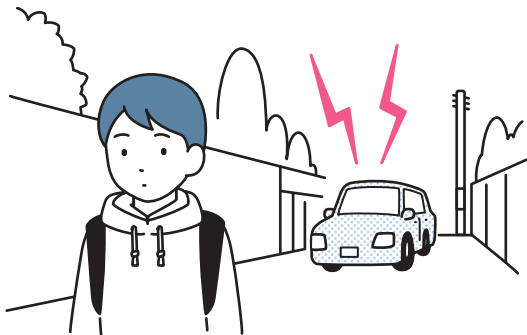
聞こえない・聞こえにくい人は、普段どんなことに困っているのでしょうか。何に困っているのかを知って、適切なサポートにつなげましょう。ちょっとした「気づき」や「心配り」がコミュニケーションを円滑にします。

こんなことで
困っています



音による情報に気がつかない

病院や銀行などの呼び出しや、駅や商業施設などでは、放送が聞こえません。気づかないまま待ち続けたり、必要な情報を得られず困ります。



周囲の状況がわからない

自動車のクラクションや自転車のベルが鳴っても聞こえないため、対応することができません。災害時などは、防災無線や広報車の放送が聞こえず、状況判断が難しいです。



外見では気づいてもらえない

聞こえないことが周囲からはわかりません。後ろや視線の合わない場所から声をかけられた場合など、気づくことができず、「無視をされた」などと誤解を受けることがあります。



複数での会話が難しい

複数の人が同時に話すと、相手の口の動きや表情を見ることができず、だれがどのような話をしているか理解できません。話に追いつけず、自分の思いを伝えられないことがあります。